

10月23日 子ども子育て会議資料

質問事項	町の方針
1. 新のびすくにおいて、ソーシャルディスタンスを考慮した運用的収容人数は。	国基準が「概ね10組の子育て親子が一度に利用できる広さ」で、ソーシャルディスタンスを考慮して、プレイルームで15組を限度に2m間隔を維持し、人数の多いクラスはクラス分けを考えています。
2. のびすく・児童館の統合した事業でトイレが不足しないか。	原則、午前中をのびすくの講座、午後を幼稚園・小学生を中心とした各種体験クラブで区分します。
3. 新のびすくにおいて、職員配置は。	常勤職員3名、アルバイト職員5名の交代勤務で、常時3名の職員の配置を想定しています。
4. 移転に伴って校区単位の利用状況に変化が生じるが、どう考えているか。	のびすくは親子が車で来られる方が多く、バイパスや総合公園に近く車の使用がしやすい場所です。児童館を利用する斑鳩小学生が終業後に来ることは困難ですが、新たに龍田小学生が終業後に来やすくなるので、通いやすくなる方の地域性は異なってくると考えます。
5. 小学生が長期休業中に遊べる設備があるのか。また、防犯上の対策はあるのか。	東側倉庫、プレイルーム、スペース2で、卓球をできるようにします。防犯カメラの設置は予定していません。
6. 児童館の移転は決定事項か。	決定事項ではありません。ただし、昨年度策定した第2期太子町子ども・子育て支援事業計画において、老朽化した児童館の廃止及びそれに伴う新のびすくとのソフト事業の統合を町の方針として掲げています。皆さんの意見を聴いたうえで最終的に決定し、12月議会に児童館を廃止し、新たな子育て支援施設を設置する条例を上程する予定です。
7. 設計図面は確定か。乳幼児が利用する施設としては不十分な面が多いのでは。	2年1月にのびすくを利用している保護者に、移転に伴うアンケート調査を実施し、のびすく・児童館の職員と、まちづくり課建築係の職員と、（当時の）社会福祉課職員が、子育てに関する要望事項を協議したうえでの設計図面です。現行の設計図面で県から建築許可申請をうけている為、軽微な修正以外は困難な状況です。
8. プレイルームの畳部屋において ①スタッフが畳部屋の正面に立たないと状況が見えないため、確実に見えるように鏡等の設置ができないか。	①スタッフは事務室常駐でなく、プレイルーム常駐の配置とします。 畳部屋と通路の間にミラーを設置する等の対策を検討中です。

10月23日 子ども子育て会議資料

②畳部屋の奥に本棚があれば、子どもが直進して畳部屋の上の赤ちゃんと衝突するおそれがある。	②本棚は、固定式でなく可動式の本棚に変更します。畳部屋には、必要に応じて可動式のフェンスを設置します。
9. 登録者限定の講座が中心で、子どもの居場所としてフリーな時間帯はないのか。	①午前中はのびすくの講座、午後は小学生などの各種クラブを中心に講座を設けますが、講座がない時間帯はフリーに使用できる時間帯です。 ②行事情報及びフリーの時間帯は町HP、施設の案内看板でお知らせします。
10. 事業の統合で利用者に新たなメリットは。	①現行ののびすくの開館時間「平日の9時から15時まで」を、「平日と土曜日の9時30分から17時まで」に延長する方向で検討しています。 ②相談業務が少ないので、心理士、作業療法士を招いた発達相談やペアレントトレーニングなど、子育てに悩まれる方への相談業務を充実させる方向で検討しています。
11. 備品、材料、用具の置き場所は確保できているのか。	スペース1を書庫・倉庫専用とし、東側倉庫の東端にも収納ラックを設置します。
12. スペース1を遊ぶスペースとしないのか。	農協時代から、高い場所に明かり取りの窓があるだけの倉庫として建設され、エアコンが設置されていない（設置を見込んだ設計がされていない）為、倉庫として使用しますが、一部図書コーナーとしての使用（ルームエアコン新設）を検討します。ただし、エアコンの用コンセントの配線工事や配管工事費が新たに生じることになるので、現行の設計金額では困難な状況です。
13. 児童館では子ども達が自由におもちゃを選んで遊べるが、倉庫に置くと不便になるのでは。	そこまで具体的な協議は進んでいませんが、季節的な遊具は倉庫へ、常用的な遊具はプレイルームの一角に設置する方向で検討します。
14. 畳部屋南の通路が死角になり、子どもが遊ぶスペースにならないか。	出入口からプレイルームを通して子ども達とぶつからないよう会議室方向へ行くための動線として通路を確保して設計していますが、必要に応じて可動式のラックやフェンス等を設置して小さな子どもが入らないよう対応します。